

営農情報 (大豆)

第2号 平成29年8月23日

(大豆営農情報 8月号)

J A福岡大城・南筑後普及指導センター

1 大豆の生育概況

播種は、7月15～18日頃を中心に行われ、7月20日頃までには概ね終了しました。出芽・苗立ちは良好で、中耕・培土作業も順調に行われました。生育は順調で、適期播種したほ場の開花期は平年並となる見込みです。

2 病虫害防除

現在、ほ場での白変葉は少ない状況ですが、ハスモンヨトウは気温が高く降水量が少ない条件で多発しやすいことから、今後の発生に注意が必要です。特に開花期（8月下旬～9月上旬頃）に食害を受けると、収量が減少しますので、白変葉が目立ち始めたら防除を実施して下さい。

【1回目防除】 9月上旬（白変葉が目立つ場合）

対象病虫害	薬剤名	希釈倍率	使用回数	100ℓあたり 薬剤量
ハスモンヨトウ	プレオフロアブル	1000～2000倍	2回以内	50ml～100ml

※【散布量】 10a 当たり 100～300ℓ

【2回目防除】 9月中旬（ハスモンヨトウ、カメムシ、紫斑病対策）

対象病虫害	薬剤名	希釈倍率	使用回数	100ℓあたり 薬剤量
ハスモンヨトウ	プレバ [®] シンフロアブル5	4000倍	2回以内	25ml
カメムシ類	キラップフロアブル	2000倍	2回以内	50ml
紫斑病	トップジンM水和剤	1000～1500倍	4回以内	70～100ml

※【散布量】 10a 当たり 100～300ℓ

○ 8月・9月の管理作業については、大豆栽培こよみを参考にしてください。

※農薬散布時は、近隣農作物への飛散防止対策を十分に行ってください。